

東南アでラーメン店

ウイズリンク まずシンガポール

【広島】中国地方を地盤にラーメン店などを運営するウイズリンク(広島市)は東南アジアでの多店化を始める。11月上旬に海外1号店をシンガポールに開き、同国で2015年までに直営5店

を出す計画。フランチャイズチェーン(FC)店を展開する現地企業も探し、インドネシア、ベトナムへの出店も目指す。ウイズリンクはラーメン店「ぼり馬」やつげ麵「風雲丸」など4業態を

展開している。ラーメンは広島県に多い辛いタイプではなく、和歌山ラーメン風の味付けや濃厚魚介スープが特徴だ。シンガポールには、ぼり馬の直営店を開く。客席は約50で、ラーメンは

現地の消費者の嗜好に合わせて辛く、脂も多めにする。焼き鳥なども提供する。当面は麺など主力食材を日本から供給して、ほかは現地調達する。1店の売り上げは年間1億円を目指す。シンガポールに続いて、インドネシアやベトナムなど東南アジア全体に店舗網を順次広げる。東南アジアでも一定のペ

ースで直営店を出しながらFC店も展開し、出店を加速したい考えだ。チェーン本部としてのウイズリンクの売上高は12年4月期で15億円で、16年4月期には20億円に引き上げることが目標だ。そこで国内でも関東地方を軸に店を増やし、15年までに国内外で現在の約6割増となる100店舗制を目指す。このため、

10月初旬に広島の本社以外で初の事務所を東京都に設置。社員1人を常駐させ、FCでの出店を希望する事業主や直営店の出店場所を探す。